

ポーラ、宮城県仙台市との包括連携協定を締結

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：小林琢磨）は、この度、仙台市（市長：郡 和子）と、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進し、一層の地域活性化と市民サービスの向上、持続可能な地域社会づくりに取り組むことに合意し、包括連携協定を締結しました。仙台市では、現在14のポーラショップで、113人のビューティーディレクター※が、ビジネスリーダーとして活躍しています。

ポーラは、全社の行動指針として「We Care More.世界を変える、心づかいを。」を掲げ、美容と健康という枠組みにとらわれず、人・社会・地球、そのすべてをケアするために、一人ひとりが何ができるかを考え取り組んでいます。また、2029年に迎える創業100周年に向けて定めた「サステナビリティ方針」では、私と社会の可能性を信じられる、つながりであふれる社会を目指し、2029年までのSDGsの目標数値を設定しました。本協定の締結をきっかけに、仙台市の皆さまが自らの主体的選択によって自分の可能性を広げ、地域でいきいきと活躍できる社会を、市民の皆さまとともに築いていきます。

※：全国に展開するポーラのショップの中で、カウンセリングやエステなどをはじめとした美容を通じてお客さまのありたい姿を引き出し価値を提案する、プロフェッショナルな販売員。

連携事項

- （1）ウェルビーイングな職場環境の実現に関する事
- （2）産学官共同によるスマートシティ実現に関する事
- （3）市民の健康増進に関する事
- （4）子育て支援に関する事
- （5）男女共同参画に関する事
- （6）その他目的を達成するために必要な事業に関する事



締結式の様子

（右：仙台市長 郡 和子氏、
左：株式会社ポーラ執行役員 安野 晋平）